　社外秘

**「これまで学んできたことについて」**

氏名 ：　劉　剣一祥（リュウ　ケンイッショウ）

学歴 ：　華中科技大学

　　コンピュータサイエンス学部　Internet of Things専門

　　学士

保有資格 ：　大学英語六級（中国）

　日本語能力試験一級

**Ⅰ．要約**

大学でＣ、Ｃ＋＋、Verilog　HDL、アセンブリ言語、マイコンインタフェース技術、センサー、RFID、OS、データベース、理論的なのは数学、物理、論理回路、アナログ回路、日本語、アルゴリズム、ミドルウェア、情報セキュリティ、コンピュータ構成原理　レポートたくさん書く　書かれる　PPTも使いこなせる

独学　python　Java

今テキスト　比較

**Ⅱ．本文**

**１．これまで学んできたこと 、自分の特徴**

**これまで学んできたこと：**

まずは大学で学んだこと。我が校は質実な学風が有名であり、振り返ってみれば大学四年間数多の課程を修了し、さまざまなスキールが身についた:

一年生の時からC言語や簡単なウェブサイト制作を学んだ。

二年の時はアルゴリズム、Ｃ++言語、OS原理、データベース、論理回路、アナログ回路やVerilog　HDLの勉強だ。

三年からはアセンブリ言語、マイコンインタフェース技術、センサー原理や応用、RFID原理や応用、コンピュータネットワーク、ミドルウェア、情報セキュリティ、コンピュータ構成原理を修了した。

この中にかつて苦戦してやっと壁を乗り越えた課程が多くあるが、ここはひとつだけ取り上げて説明させてもらう。「コンピュータ構成原理」は文字通り、コンピュータハードウェアの隅々までを知らせる課程である。このコースを通して、以前コンピュータに関わるモヤモヤを一掃し、より明確なイメージが湧けるようになった。しかし、本当に厄介なのはこれからの実践課程だ。前学んだVerilog言語を使ってFPGAで一からMIPS命令が実行でき、割り込み可、5段パイプラインコンピュータを作るということだ。その過程はあまりにもつらくて、一人の力では到底どうにもならなくて、チームの仲間が支え合いながらやってのけたのだ。そこで、私はハードウェアの不安定さやチームワークの重要性をあらためて認識した。

私の学部はレポートを書くことが特に多いといわれる。大量なレポートを書かされたおかげで、物事をわかりやすく説明するという論理的な思考回路を身に付けた。その他、発表も結構あったので、PPTが使いこなせるようになった。

次は大学ではなく、独学で学んだこと。大学で学んだことだけで、一人前のSEになることができないと私が信じている。そもそもテキストの内容になる知識が古すぎて、先端な技術を追求する企業がそのようなスキールを求めるわけがないだろう。このため、普段から業界で流行っている技術を眼中に置いて、少しずつでも勉強してきた。例えば、Javaを勉強してB/SモデルのシステムやProxy serverを構築、Pythonを勉強してアルゴリズム問題の解決、LinuxでDockerを通じていろいろなモジュールを利用すること

などがある。

大学を卒業してFSWebの事務所に通い始めからもう３か月が立った。ここで主にFEやJavaの勉強をしていた。FEについて、テキストの内容は大学で学んだ課程の簡単バージョンなので、理解するのに難しくないが、日本語の専門用語を覚えるのに時間がかかってしまった。Javaのほうは以前少し学んだので今のところが問題なしだ。この三か月一番勉強になったのは報告書の書き方である。書く時は、わかりやすく説明してアドバイスをもらう気持ちで書くのが肝要であることが教えてもらった。

**自分の特徴：**

わからないことがあれば他人に聞いてわかるまでずっと頭にこびりつく。

　自分が担当していることが中途半端に終わらせたくない。

**２．配属希望、今後取り組んでみたいこと**

**配属希望：**

第一希望：ソリューション開発部

第二希望：マイグレーションサービス部

私としては、新人の頃できるだけ具体的な開発に参加して開発経験を積み重ねたいと思う。しかも、共通PKGは現在流行っている開発バターンで、Amazonや中国のアリババもそれを進めている。このため、もし機会があればソリ開発部に入りたいと思っている。過去学んだJavaが活かせるので、新設のマイグレーションサービス部にも大変興味がある。

**今後取り組んでみたいこと：**

自分が学んだことを活かすだけではなく、部に入った後から日々精進して先端技術へチャレンジし、部の皆さんと一緒に同じプロジェクトを遂行し、その達成感を味わいたいのだ。そして、いつか自分が活躍

が開発したシステムが世間に認められ、

以上